

兵庫県教育委員会（所在地：兵庫県）

事業名

「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム

事業の趣旨・目的

- ・ 障害者の生涯学習推進に向けて、関係部署、機関、団体等が互いに補完し合いながら活動を一体的に推進することを目指す。
- ・ 学習プログラムの実践研究を広域的な発展モデルとして総合化することを目指す。
- ・ 学びのニーズに対応するためのコーディネーター等の人材育成を目指す。

事業内容

- 「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム開催（年3回）
- 学習プログラムの開発、履修証明書の発行
 - ・ 県内市町における身体障害者社会学級（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由者）の開設、神戸大学における学ぶ楽しみ発見プログラム（知的障害者）の実施による履修証明書の発行を見据えた学習プログラムの開発
 - ・ 県内及び近畿地区内における「学びの場」についての調査（一覧作成、周知）
- 人材の発掘と育成
 - ・ コーディネーターによる学びの場におけるニーズの把握、関係団体との連携
 - ・ 社会教育主事、指導主事、教員対象にした研修の実施
- 関係団体・支援者・障害当事者等が参加する共生社会コンファレンスの実施
 - ・ 全体会①（活動報告2団体）、グループセッション（実践発表6団体、オンラインでのグループ協議）、全体会②（グループの報告、総括）、オフライン交流
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、近畿ブロック内に12サテライトを設置して実施 ※ サテライト間はオンラインで接続

事業実施体制・連携先

連携協議会の構成員
 県視覚障害者福祉協会会長、県聴覚障害者協会理事長、たけのご学級（肢体不自由者対象）運営委員長、県公民館連合会長、県立特別支援学校長、県立特別支援学校PTA連合協議会長、障害福祉サービス等事業所代表、手をつなぐ育成会代表、大学付属特別支援学校長・副校長、市教育委員会事務局特別支援教育課長、市青年社会学級担当課長、県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課長、県教育委員会事務局特別支援教育課長、大学教授

研究の成果と課題

- 【成果】
- コンソーシアムの開催により、関係機関の連携の強化
 - ・ 理念、関係機関、団体の取組内容の共有
 - 関係者の障害者の生涯学習推進に向けた意識の醸成
 - ・ 社会教育主事、指導主事、教員対象の研修会開催による資質向上
 - ・ コンファレンス参加者の意識高揚
 - リーフレットによる障害者の生涯学習についての啓発
 - ・ 学びの場一覧作成及びリーフレットによる啓発
- 【課題】
- 障害者の生涯学習推進に向けた、具体的方策の協議及び実施
 - 県内における推進市町等との連携
 - コロナ禍における障害者の生涯学習推進方策の検討
 - ・ オンラインでの実施と対面での実施の検討（学習プログラムの開発）等
 - 学びの場及び関係者の連携におけるコーディネーターの効果的な役割

その他研究の詳細など



コンソーシアムの様子



共生社会コンファレンス
サテライト会場の様子



小学校へのお出前授業
青い鳥学級（視覚障害者）

【啓発リーフレット】
 『学校で学び合う
 地域で学び合う
 生涯学びつづける』



『いつでも いつからでも
 だれでも 学べる社会に』

